

## 86. 県の財政

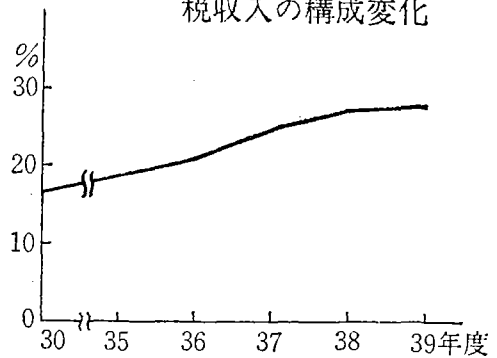
本県の財政を普通会計決算額でみると、39年度は、歳入497億円、歳出487億円となっており、実質収支差は4.2億円である。前年度に比べ歳入は83億円19.9%、歳出は86億円で21.6%とそれぞれ増加している。

構造面を主要項目別にみると、歳入面では、国庫支出金27.8%、地方税27.8%、地方交付税17.7%等である。歳出の性質別では人件費42.3%（うち教育費30.1%）普通建設費32.9%等となっている。

なお、39年度地方債は発行額約14億円、元利償還額約16億円で、償還額が発行額を上回り、40年3月末地方債現在高は107億円となっている。

（単位 100万円）

県普通会計歳入総額に占める  
税収入の構成変化



年 度	県 財 政 の 推 移 (普 通 会 計)						実質収支差 (C-D+E)
	歳入 (A)	歳出 (B)	歳入-歳出 (A)-(B) (C)	事業繰越財源 よび支 (D)	繰越次当額 お伴 (E)	繰越未収入 特定財源 (E)	
昭和30年	12 211	12 852	△ 640		686	—	△ 1 327
35	25 382	23 908	1 474		1 009	58	523
38	41 434	40 036	1 397		645	124	877
39	49 685	48 674	1 010		1 422	831	420

昭和39年度普通会計決算額

科 目	決算額	目的別歳出		性質別歳出	
		科 目	決算額	科 目	決算額
歳入総額	49 685	歳出総額	48 674	歳出総額	48 674
地方税	13 820	議 会 費	192	人 件 費	20 576
地方譲与税	960	議 総 務 費	2 296	物 件 費	2 549
地方交付税	8 789	民 生 費	1 540	維 持 補 修 費	406
分担金, 負担金	1 181	衛 生 費	1 889	扶 助 費	1 805
使用料, 手数料	1 125	農 林 水 産 費	442	普 通 建 設 費	1 999
国庫支出金	13 790	農 林 水 産 費	6 108	普 通 建 設 費	15 991
財産収入	1 490	商 工 費	2 378	災 害 復 旧 費	610
寄附金	402	土 木 費	11 218	失 業 復 対 債 の 費	96
繰越入金	451	警 察 費	2 843	公 所 復 対 債 の 費	1 620
繰越雑収	1 387	教 育 費	17 460	そ の 他 の 復 対 債 の 費	3 022
地方債収入	4 846	災 害 復 旧 費	610		
	1 443	そ の 他 の 復 旧 費	1 697		